ヘルパーの魅力発信

ヘルパーもっと知りたい！ 魅力編

©国立市観光まちづくり協会 くにニャン

皆さんはヘルパーさんのことをご存知ですか？国立市では、「障害者総合支援法」に基づき、しょうがいのある方が地域で安心して暮らせるよう支援体制を整える「自立支援協議会」を設置しています。

「自立支援協議会」では、いま地域で大きな課題となっている『ヘルパー不足』について話し合いを重ねてきました。そこで「まずはヘルパーという仕事の魅力を多くの方に知ってもらおう！」とワーキンググループを結成し、このたびチラシを作成しました。市民の皆さんに奥深く魅力溢れるヘルパーの仕事をご紹介します。

魅力１

人生の一部をともに歩むことで、自分の世界も広がっていくところ



Q このお仕事に就いたきっかけを教えてください

学生時代のボランティアをきっかけに福祉の仕事に就き、結婚や引越しを経て「やはりしょうがいのある方と一緒にいたい」と応募したのがきっかけです。波長が合い、一緒に過ごす空間がとても居心地良かったからこそ、自然とこれまで長く関係を続けることができたのだと感じています。

Q ヘルパーのお仕事のやりがいや、魅力を感じるのはどんな時ですか？

利用者さんと共にやりたいことを探し、考えて、生活を作っていくことができるという点が、この仕事の大きな魅力のひとつです。自分ひとりではできなかったライブやアピールなどの経験を共にできたことが嬉しく、自身を見つめ直すきっかけにもなっています。日々の関わりから学ぶことが本当にたくさんあります。

利用者さんにお話を伺いました

Q ヘルパーとの出会いついて教えてください

8年前、ホームページの求人広告で応募してくれたのが出会いです。入院しそうになった際も慌てず落ち着いて対応してくれ、長年の付き合いの中で言わんとすることを分かってくれる大切なパートナーだと感じています。ちょっとした変化にもすぐに気づいてくれるので本当に心強いです。

Q ヘルパーという存在はどのようなものですか？

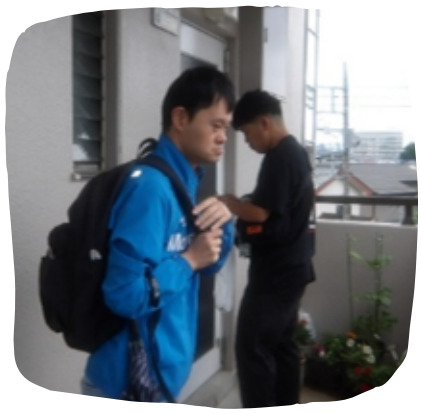
家族や友達とも違う、共に歩める関係性です。一緒に喜んだり怒ったりしながら、二人三脚で歩んでいます。新しいヘルパーの方にやり方を説明するときも、ヘルパー視点でアドバイスをしてくれています。私にとってなくてはならない存在ですね。



国立市自立支援協議会ワーキンググループ
（国立市、なびぃ、サプラ、社協ヘルパーステーション）
問い合わせ先：042-571-3103

魅力２

様々な体験が出来、楽しい時間！



Q このお仕事に就いたきっかけを教えてください

私は昔からおばあちゃん子だったこともあり、自然と福祉関係の道に進みました。その中でヘルパーというお仕事と出会い、今に至ります。

Q ヘルパーのお仕事のやりがいや、魅力を感じるのはどんな時ですか？

利用者さんの生活の一部を支えて関係性を築きながら、より良い生活を送るためのサポートができることに、とても楽しさとやりがいを感じます。また、支援を通じて普段自分ひとりでは行かないような場所へ一緒に行くことができ、貴重な経験ができるのも魅力です。外出先で市民の方が温かく声をかけてくださる優しい場面に出会えた時も、とても嬉しくなります。

利用者さんのご家族にお話を伺いました

Q ヘルパーを利用し始めて、どのような良い変化がありましたか？

もともとは家族の仕事の都合で利用を始めました。ヘルパーさんと一緒に過ごすようになり、人間関係が多様になったと感じています。家族以外の様々な人と関わることで新しい発見があり、本人自身の成長の糧になっていると実感しています。



魅力３

みなさんが待っていてくれるのが励みです



Q この仕事に就いたきっかけを教えてください

もともとは老人ホームで働いていましたが、一人ひとりの尊厳やその人らしさに深く寄り添った個別ケアがしたいと強く思い、現在の仕事に就きました。家族のようにその人自身に向き合えるケアを大切にしています。

Q ヘルパーのお仕事のやりがいや、魅力を感じるのはどんな時ですか？

訪問日を心待ちにしていてくださり、「来てくれて嬉しい」と笑顔で迎えてもらえる瞬間に大きなやりがいを感じます。いつも気を遣って温かく接してくださる利用者さんの優しさに触れるたび、この仕事の喜びを実感しています。

利用者さんにお話を伺いました

Q ヘルパーを利用し始めて、どのような良い変化がありましたか？

1人暮らしになり、掃除や買い物、料理をサポートしてもらえるようになってとても助かっています。きれいな部屋で気持ちよく過ごせたり、リクエストした手料理を食べられたりと、日々の暮らしが快適になりました。

Q ヘルパーという存在はどのようなものですか？

初めてひとりで迎えたお正月に、ヘルパーさんと一緒におせち料理を用意して無事に迎えられたことが印象に残っています。今はヘルパーさんをめいっぱい利用できており、私にとって絶対になくてはならない存在です。



国立市自立支援協議会ワーキンググループ
（国立市、なびぃ、サプラ、社協ヘルパーステーション）
問い合わせ先：042-571-3103